

平成27年2月3日
国土交通省中部地方整備局
岐阜国道事務所

国道156号岐阜東バイパス 部分開通から1年 ～交通が分散し定時性・安全性が向上～

1. 概要

国道156号岐阜東バイパスは、平成25年10月に日野南^{ひのみなみ}～岩田西間^{いわたにし}の約2.3kmが部分開通し、開通後1年を迎えました。

このたび、バイパスの開通に伴う効果について取りまとめましたのでお知らせします。

2. 整備効果

- 企業活動の支援
 - ・関市から岐阜市に向かう朝の特急バスは、国道156号の所要時間のバラツキが改善(約8分)し定時性が向上!
- 交通混雑の緩和
 - ・国道156号の交通がバイパスと現道に分散され、旅行速度が向上!
(並行する国道156号現道:約3割、バイパス約5割)
- 交通安全性の向上
 - ・交通混雑の緩和に伴い、交通事故発生件数が減少!(約6割)
- 通学路の安全性向上
 - ・国道156号現道の並行市道(一部通学路)の交通量が減少(約3割)し、通学路の安全性が向上!

3. 資料

資料:交通が分散し定時性・安全性が向上

4. 解禁

指定なし

5. 配布先

岐阜県政記者クラブ、岐阜市政記者クラブ、中濃記者クラブ

6. 問い合わせ先

岐阜国道事務所:副所長 小幡^{おぼた} 敏幸^{としゆき}、調査課長 片岡^{かたおか} 広一^{ひろかず}

Tel. 058-271-9811、Fax. 058-271-3175

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

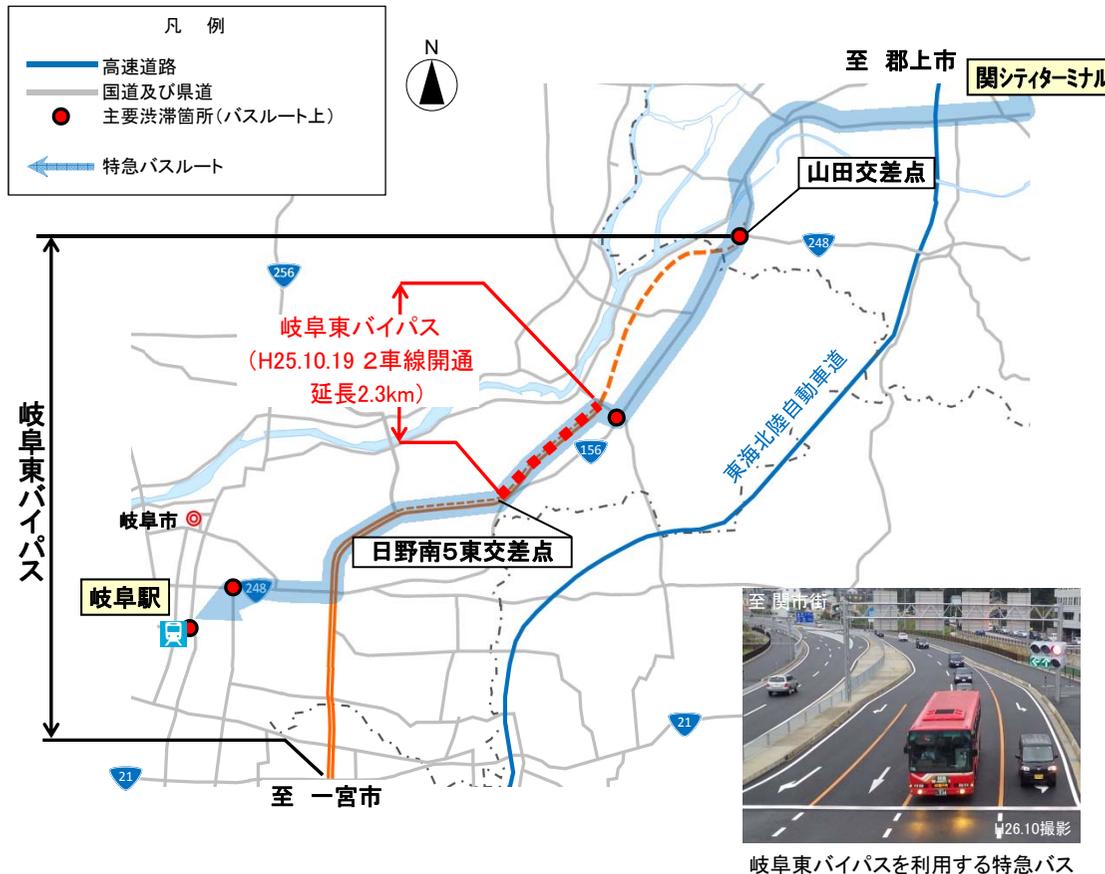
国道156号岐阜東バイパス 部分開通から1年 ～交通が分散し定時性・安全性が向上～

岐阜国道事務所
平成27年2月

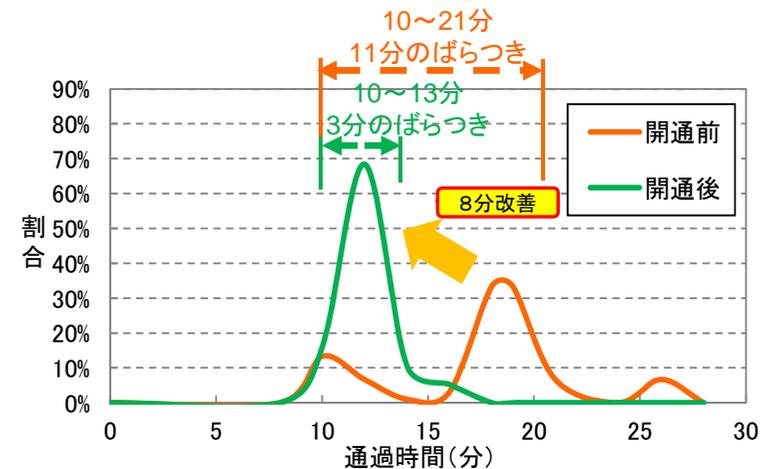
国道156号岐阜東バイパスの整備効果①

○企業活動の支援

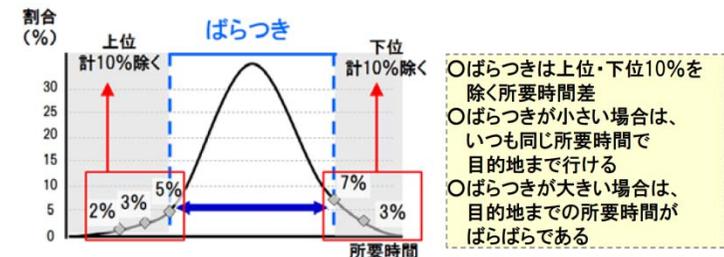
- ・岐阜バスでは、毎朝の通勤時間帯に、関市から岐阜市に向かう直通の特急バスを3便運行しています。
- ・岐阜東バイパスの開通により、**国道156号の所要時間のバラツキが改善**したため、特急バスの定時性向上に寄与しています。



■所要時間のバラツキが改善(朝7時台) (山田交差点⇒日野南5東交差点)



出典:プローブデータ(開通前:H24.11月~H25.4月、開通後:H25.11月~H26.4月)



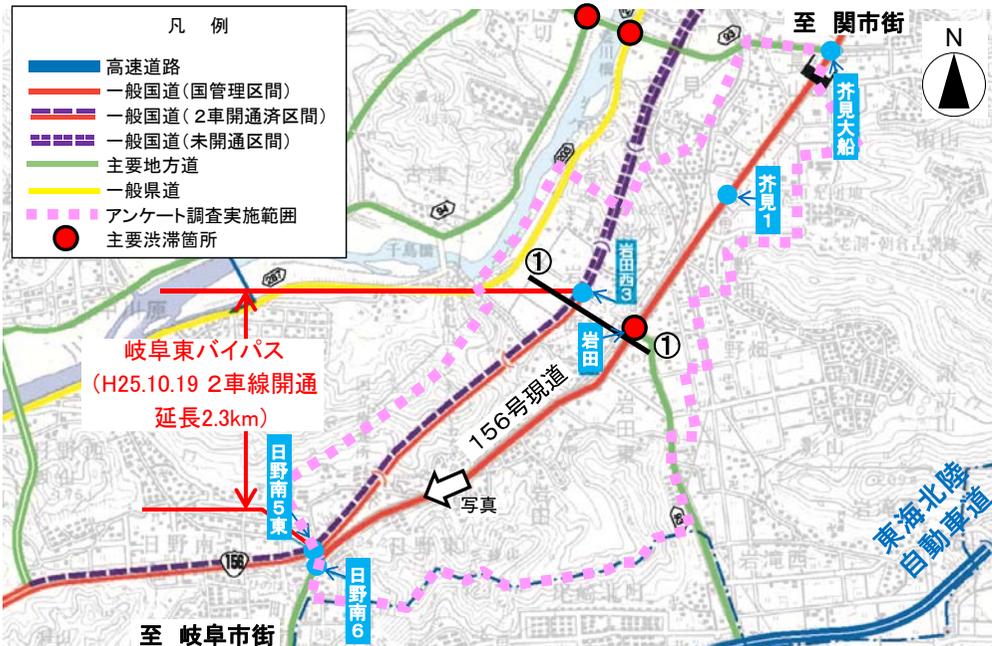
<岐阜乗合自動車(株)ヒアリング結果(H26.11)>

- ・バイパスの開通前後で比較すると、朝、夕のラッシュ時間帯における平均到着時間が数分早くなりました。バイパスが開通した関係で、バイパスと国道156号現道に分散しているのではないかと感じられます。
- ・燃費は渋滞にはまってしまうと悪化しますが、バイパスの開通によってスムーズに走れるようになっているため、燃費も良くなっていると感じます。また、道路が渋滞なくなると、バス運転者の負担は間違いなく減ります。

国道156号岐阜東バイパスの整備効果②

○交通混雑の緩和

- ・岐阜東バイパスの開通により、交通がバイパスと現道に分散され、**通勤ラッシュ時の旅行速度が約5割向上**しました。
- ・国道156号現道の沿線住民の約8割が交通混雑の緩和を実感しています。



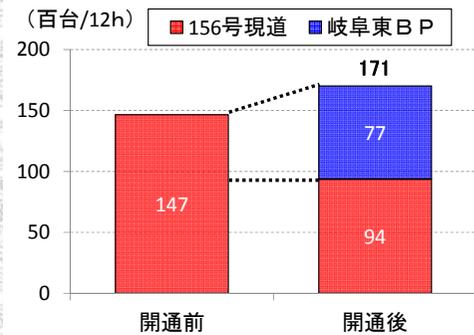
【国道156号現道の状況】



国道156号現道は特に朝の通勤ラッシュ時に混雑が発生していました。

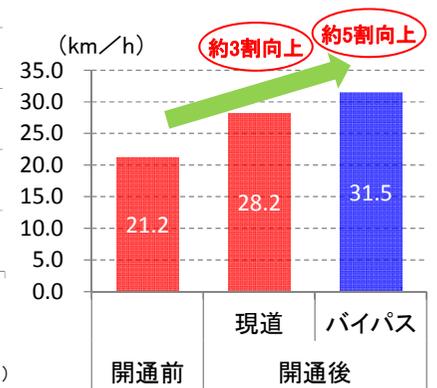


■交通がバイパスと現道に分散



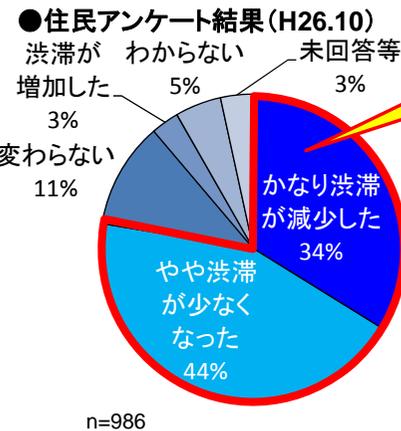
出典：交通量調査(①-①断面)
(開通前：H25年9月、開通後：H26年9月)

■旅行速度が約5割向上 (芥見1⇒日野南5東)



※上り線7時台の平均旅行速度を基に算出
※出典：プローブデータ
(開通前：H25年9月、開通後：H26年9月)

■国道156号現道沿線住民の約8割が交通混雑の緩和を実感



＜岐阜市役所職員ヒアリング結果(H26.11)＞
・地元住民からは、「現道の交通量が減少し走りやすくなった気がする」、「バイパスは信号が少ないので走りやすい」との声を聞いています。

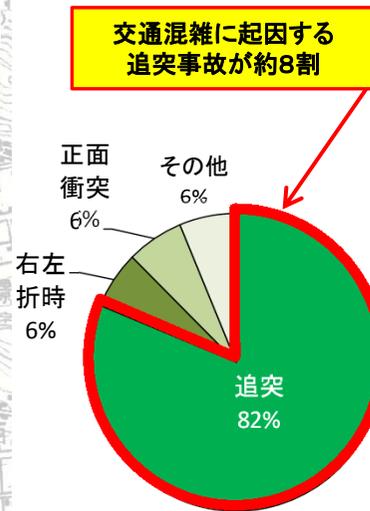
国道156号岐阜東バイパスの整備効果③

○交通安全性の向上

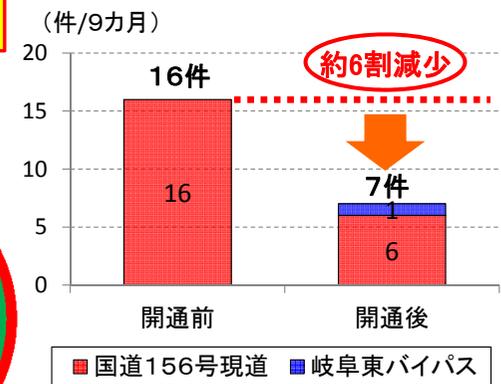
- ・岐阜東バイパスの開通後、交通混雑の緩和により**交通事故の発生件数が約6割減少**しました。
- ・国道156号現道の沿線住民からは、「交通量の減少により安全になった」との声をいただいております。



■開通前の交通事故類型 (日野南5東～岩田間)



■交通事故件数が約6割減少 (日野南5東～岩田間)



出典: 交通事故調書
(開通前: 平成25年1月～9月、開通後: 平成26年1月～9月)

出典: 交通事故調書 (H25.1月～9月)

【国道156号現道の状況】



H25.9撮影(7時台)



H25.10撮影(7時台)

<住民アンケート結果 (H26. 10) >

- ・国道156号現道の岩田交差点から日野南6交差点までの渋滞が減少して、事故が少なくなりました。
- ・国道156号は交通量が減少した分だけ安全になったような気がします。

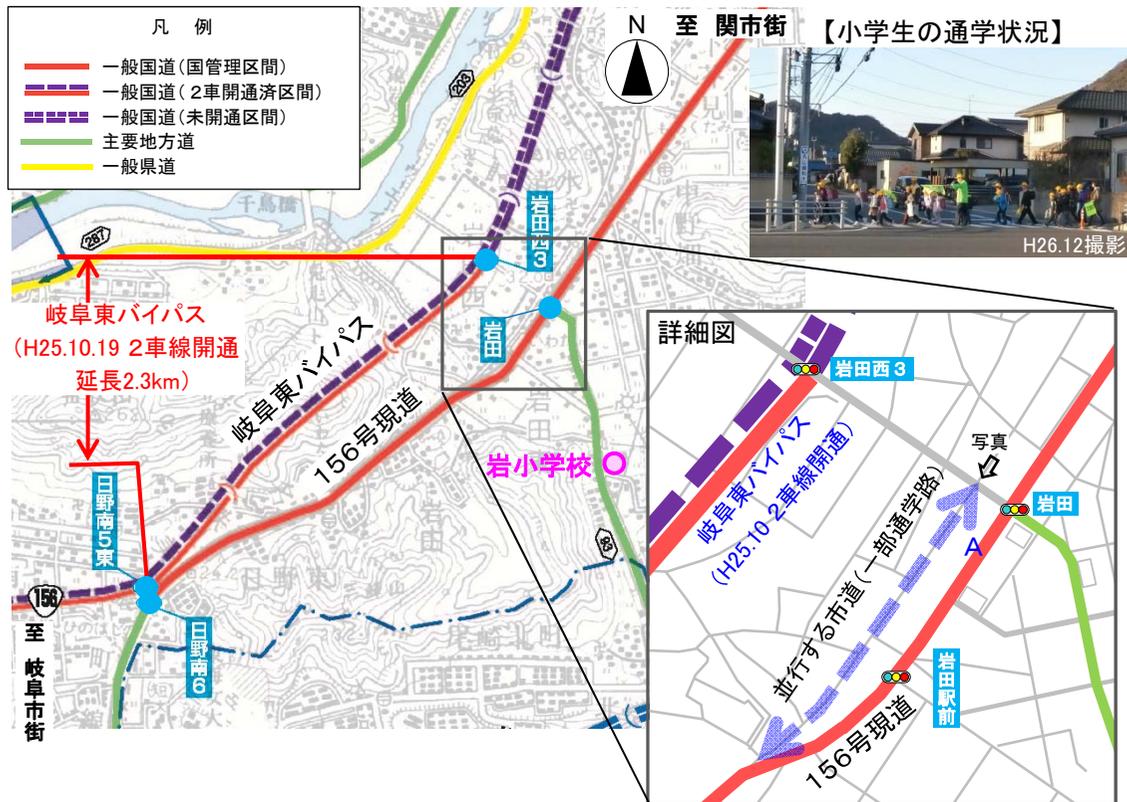
<岐阜市役所職員ヒアリング結果 (H26. 11) >

- ・地域の声として「岐阜東バイパスの開通により、現道の交通状況が良くなった」との声を聞いています。

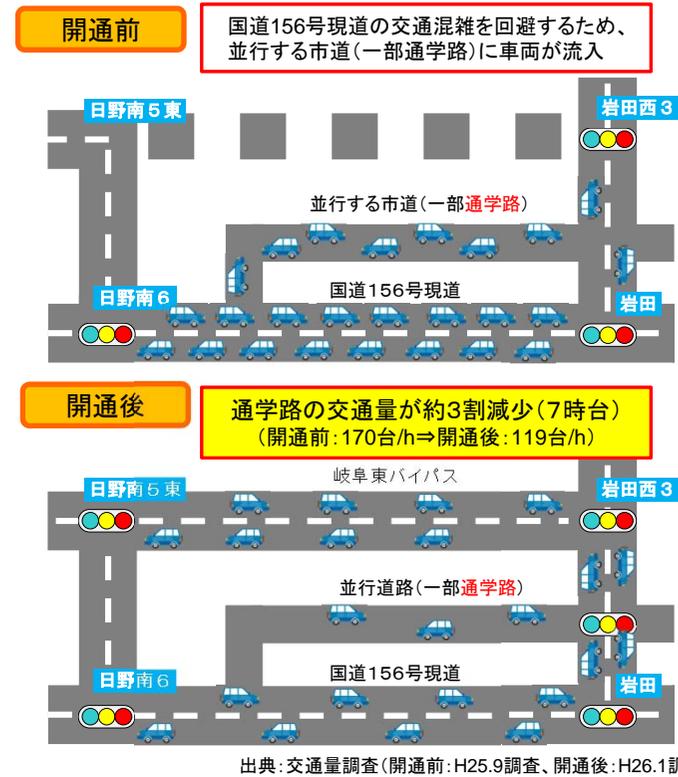
国道156号岐阜東バイパスの整備効果④

○通学路の安全性向上

- ・岐阜東バイパスの開通後、国道156号現道の交通混雑が緩和したため、**並行する市道の交通量が約3割減少**し、通学路の安全性が向上しました。
- ・国道156号現道の沿線住民からは「通勤時に通学路を通らなくてもよくなった」との声をいただいております。



■並行する市道の交通量が約3割減少(7時台)



<住民アンケート結果 (H26. 10) >

- ・朝の渋滞が緩和し、通勤時間に余裕が出来たので、安全運転を心がけることができ、通学路を通らなくてもよくなりました。

<岐阜市役所職員ヒアリング結果 (H26. 11) >

- ・バイパスの部分開通前は、国道156号現道で渋滞が発生すると渋滞を避けるため、通学路に指定されている道路にも車両が流入し、交通量が増えて危険な状態でした。バイパスの部分開通により、現道の渋滞が緩和されたため、渋滞をさけようとする車両の流入が減少し、通学路に指定されている道路の安全性が向上しました。